

実践事例：役割演技を通して、きまりの大切さに気づく

- 1 主題名 きまりはなんのために＜4－（1）規則の尊重＞
- 2 資料名 「きまりじゃないか」（東京書籍3年生用副読本）
- 3 ねらい きまりを守ることの大切さが分かり、進んできまりを守ろうとする態度を育てる。
- 4 ねらいとする価値

きまりは、集団生活を営むうえでなくてはならないものであり、きまりを守り合うことで、集団生活は円滑に営まれていく。きまりを守ることで、みんなが安全に、快適に生活できることを理解し、自ら進んできまりを守ろうとする態度を養いたい。

5 展開の概要

学習活動の流れと主な発問など
<p>1 実態調査（「守られているきまり」「あまり守られていないきまり」）のグラフを見て話し合う。</p> <p>○このグラフを見て、気がついたことはありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・廊下を走る子が多い。 ・チャイム着席は守られている。
<p>2 資料「きまりじゃないか」を読んで話し合う。</p> <p>○大助が外に行こうとしたとき、裕一はどんなことを考えたでしょうか。</p> <p>○「もう、いいじゃないか。」と言う勝はどんな気持ちだったでしょうか。</p> <p>◎小さい声で「でも、きまりじゃないか」と言ったときの裕一は、どんな気持ちだったでしょうか。</p>
<p>3 自分の生活を振り返って考える。</p> <p>○きまりを守ってよかったと思ったことはありますか。それはどんなときですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・廊下を走っていた人どうしがぶつかってけがをしたとき、自分は走っていないくてよかったなと思った。
<p>4 約束やきまりはどうしてあるのかを考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校や家庭、地域にある様々な約束やきまりは、どうしてあるか考え、発表する。

留意点

◇役割演技の活用

勝役と裕一役になって、役割演技を行い、二人の心情を考えられるようにする。その中でも、特に裕一の心情に焦点を当て、ねらいに迫るようにする。

◇「わたしたちの道徳」の活用

展開後段では、「わたしたちの道徳」118ページ「社会のきまりを守って」を活用し、「約束やきまりはどうしてあるのか」、「みんなが気持ちよくくらすための約束やきまりには、どのようなものがあるのか」を考える。

6 指導の実際

授業記録	ポイント
<p>T：雨はやみましたが、校庭に出てはいけない印である赤い旗が出ています。旗がしまわれるのを待っている裕一でしたが、何人かの子どもたちは、雨がやんだのをいいことに、校庭で、すでに遊び始めています。ついに一緒に待っていた仲良しの勝からも、校庭に遊びに行くことを誘われてしまいました。では、二人のやりとりを、勝が裕一を誘うところから始めてみてください。</p> <p>C1：（勝役）ドッジボールをしに行こうよ。</p> <p>C2：（裕一役）でも、まだ赤い旗が出ているよ。</p> <p>C1：もう晴れているからいいじゃないか。</p>	<p>①条件設定 各役割の関係や状況を理解できるように解説する。演技をする児童には、裕一と勝の名前を書いた札を首から下げるようにする。</p> <p>②即興性 あらかじめ用意された台詞<small>せりふ</small>を言うのではなく、設定された条件の中で即興</p>

C2: でも、きまりはきまりだよ。
 C1: きまり、きまりってうるさいなあ。
 C2: まだ水たまりもあるし、すべって転んだらあぶないよ。
 C1: それくらい大丈夫だよ。
 C2: でも、低学年の子がまねしてけがをしたら困るし……。
 C1: そうだね。じゃあ、先生に聞いてから外へ行こうよ。
 T: はい、そこまでにしましょう。
 T: では、今度は、二人の役割を交代してみてください。
 (裕一役と勝役を交代して、役割演技を行う。)
 T: 演じてくれた二人に話を聞いてみましょう。
 C1: 裕一は正しいことを言っているけれど、仲のよい友達にまで反対されると、自信がなくなってくるように思いました。それでも、きまりを守ろうとして、勝を説得しようとする裕一は、すごいなと思いました。
 T: 見ていたみなさんに聞きます。裕一はどんな気持ちだと思いますか。
 C3: きまりは自分たちのためにあるのに、どうして、みんなきまりを守らないのだろう。
 C4: ぼく一人だけがきまりのことを言っていて、つらいなあ。誰か分かってくれないかな。

的に演技を行う。このことにより児童は、本音を語ったり、自分自身を省みたりすることができる。

③演技の中断

教師は、効果的に演技を中断させ、話し合ったり、条件を加えたりする。

④役割交代

双方の立場に立ち、互いに相手の気持ちを考えることができるようにする。

⑤話し合い活動

演者であるC1とC2に、それぞれ感想を聞く。演技自体の感想(「緊張した」など)ではなく、登場人物の気持ちに対してどう思ったかを述べられるようにする。

⑥全体での話し合い活動

学級全体で十分に話し合いを深め、ねらいとする価値に迫るようにする。

※授業後の児童の感想より

裕一のように、自分だけがきまりを守るというのは、とても勇気がいることだと思いました。でも、きまりは、みんながけがをしたり、いやな思いをしたりしないで、生活していくためにあるのだから、守らなければいけないと思いました。

